

「SSI 発生予防に向けた清掃タイミングの検討への取り組み」の

研究協力をお願い

手術室では、手術部位感染（SSI）発生予防に努めています。SSI とは、医療関連感染の中の最も一般的なもので、手術後 30 日以内に、切開創、臓器、または体腔に起こる感染症を示します。SSI のリスクに関連する因子は、年齢、糖尿病、喫煙、肥満など患者様の要因である内的要因と術前処置（除毛など）、手術時手洗い、手術室の環境、手術時間、手術操作、皮膚の消毒、予防的抗菌薬のタイミング、使用する器械の洗浄・滅菌などの外的要因があります。手術室では SSI 発生予防に向けて、「手術部位感染症予防のためのグローバルガイドライン」に局所管理に関する項目として挙げられている手術部位の皮膚消毒・手術時手洗い・ドレープ・ガウン・切開創の洗浄・抗菌縫合糸に対して、推奨されている様々な項目を実施しております。そこで、今回は手術室の環境に着目し本研究に取り組みました。

研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への情報提供をご希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

《課題名》

SSI 発生予防に向けた清掃タイミングの検討への取り組み

《研究対象者》

倫理委員会承認日～2024 年 12 月の期間中に当院にて全身麻酔手術で使用した手術室各部屋内

(1) 研究の概要について

研究課題名：SSI 発生予防に向けた清掃タイミングの検討への取り組み

研究期間：倫理委員会承認日～令和 8 年 12 月 31 日

実施責任者：東近江総合医療センター 手術室看護師 一原 沙織

(2) 研究の目的

当院手術室での手術前・手術終了時・手術間清掃後・翌日始業時の環境表面の汚染度（ATP 測定値）を測定し、現状の清掃評価を行うことで SIR の低下に繋がります。

(3) 研究方法

手術前（手術開始30分前）・手術終了時（患者退室後）・手術間清掃後・翌日始業時における接触頻度の高い3ヵ所の汚染度の測定値（ATP測定値）

① 倫理審査委員会承認日～令和6年12月までの全身麻酔手術で使用した手術室

(4) 個人情報の取り扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり、関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表するときも、個人を特定できないようにして公表します。

(5) 研究成果について

本研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで発表します。

(6) 利益相反について

本研究は、特定の企業・団体等からの資金を受けて行われたものではなく、利益相反はありません。

(7) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象などの個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(8) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止することができます。停止を求める場合には、令和4年9月1日までに下記(9)にご連絡ください。

(9) 問い合わせ等の連絡先

東近江総合医療センター 看護部

住所：〒527-8505 滋賀県東近江市五智町255番地

電話番号：0748（22）3030（代表）

研究責任者：手術室看護師 一原 沙織

手術室看護師長 青木 承子